

# 誰でも集える地域活性イベントの提案

〈"新しい福祉"の実現を目指して〉

法文学部法経社会学科地域社会コース 3年 芥川佳子

## 社会福祉法人 日置福祉会

- ・就労継続支援B型事業
- ・共同生活支援事業
- ・相談支援事業
- ・生活介護事業／日中一時支援事業
- ・公益事業（地域交流・活性拠点「ひよし吉日」）

### ひよし吉日とは？

- ・令和5年9月1日開設
- ・地域交流・活性の拠点となることを目的に、新規ローンチしたプロジェクト・建物



### 課題

地域活性に繋がるユニークなイベントを企画する  
カフェ×地域物産の販売×地域交流イベント＝**新しい福祉**の実現

### 新しい福祉とは？

福祉という言葉で連想される固定観念にとらわれることなく、障害者と健常者が交流することで生まれる人と人との結びつき

### 活動内容・感想

- 1日目 法人説明・施設見学
- 2日目 ひよし吉日就業体験・インタビュー
- 3日目 就労支援事業所での業務体験
- 4日目 ひよし吉日就業体験・インタビュー
- 5日目・6日目 大学で活動
- 7日目 日置市散策
- 8日目 大学での活動の振り返り・まとめ
- 9日目 生活介護事業所での業務体験
- 10日目 企画プレゼン発表・フィードバック



- ・職員の方々と利用者の方々のあたたかな関係性
- ・障害者に対するイメージの変化
- ・現場を見ることの重要性

### 現状分析

- ・メディアやSNSでの紹介により、ひよし吉日で提供している定食やおにぎりが注目を集める
- 若い女性や家族連れがメイン
- ほとんどの来訪者の目的が“食”
- ・鹿児島市内や川内市からの来訪者が多数
- 地域の方々はあまり来訪できていない
- ・地域交流の場としての認知度の低さ



### 目指す将来像

- ・地域交流・活性の拠点
- ・年齢や障害の有無などに関係なく、誰もが集える場
- ・障害者と健常者が協働し、人と人を繋ぐ拠点

### 今後の課題・展望

- ・障害者と健常者とのより深い交流
- ・地域の方々が、食を目的としていなくても立ち寄ることができる場所・空間
- ・日置市・日吉の魅力を感じることでできるイベントの実施

#### インターンシップで得たスキル

- ・課題発見力  
多角的な視点から現状をとらえ、課題を発見し解決案を考えることができた
- ・傾聴力  
グループワークでは多様な意見を引き出しまとめることができた

#### 今後の自分自身の課題

- ・問いの質を高める  
インタビュー調査でなかなか自分たちが必要としている情報を集めることができなかった。問いの質を高める必要があると実感した

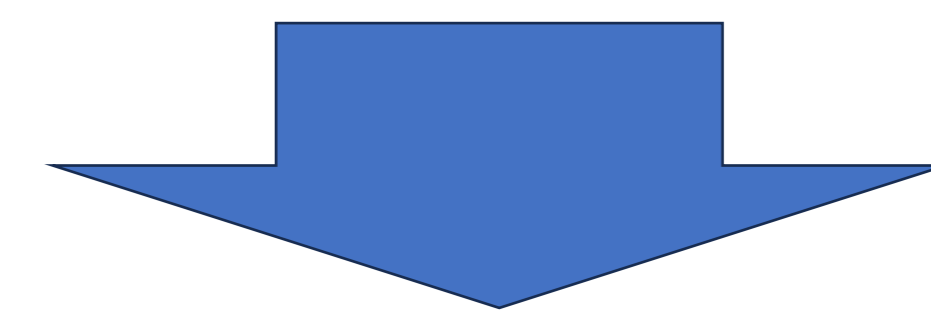
### 課題解決案

#### 重要視したポイント

- ・誰でも参加できるイベント
- ・“地域”に着目した日置ならではのイベント
- ・ひよし吉日の建物や立地状況をうまく活用

#### 3部門6種類のイベントを提案

1. ワークショップ
  - (1)麻紐を使ったコースター作り
  - (2)日置の特産品を使ったアロマキャンドル作り  
地域活性に繋がるイベント＝日置という“地域”に着目  
⇒特産品である日置茶や温州みかん、日置福祉会で栽培しているブルーベリーのエッセンスを抽出し取り入れることでひよし吉日オリジナルのアロマキャンドルを製作
  - (3)オリジナル本作り  
・ひよし吉日に絵本が置いてある  
・近くに図書館がある  
・本は年齢や障害の有無にかかわらず楽しんでいただける  
⇒日吉図書館の司書さんを講師としてお招きし、世界に一つだけのオリジナルの本を製作
2. スポーツ体験会&大会
  - (1)ポッチャ (2)モルック
3. 音楽の日



- ・ひよし吉日が地域交流・活性の拠点に
- ・障害者と健常者の直接的な交流がなくても、同じ空間にいる、運営に携わる、一つのことを全員で楽しむというだけでも“新しい福祉”といえるのではないかと

日置福祉会・ひよし吉日の皆様をはじめ、ご協力していただきましたすべての皆様にお礼申し上げます。ありがとうございました。